

# 平成 25 年度事業報告

## はじめに

中国地方のタクシー業界は、特定地域タクシー事業適正化・活性化特別措置法の具体的実施による厳しい経営環境、並びに、長期にわたり低迷する景気状況のもとで、地域の公共交通機関としてタクシー事業再構築に向けて活動しております。

このような状況の中、現在進められているタクシー無線のデジタル化は、「安全・安心・快適」なタクシーサービスの提供を可能とし、利用者の利便性を高めるとともに、タクシー事業の付加価値を向上させることにつながる具体的な対策と考えられます。

タクシー無線のデジタル移行の期限が残すところ2年と迫る中、あらためて自営無線の有効性をふまえたタクシー無線の整備・発展を図る必要があります。

## I 組織の現状

厳しい経営環境の中でも、新規事業者、譲渡譲受の新規タクシー無線免許人を正会員に迎えました。

一方、廃業・事業の集約化で、全体の正会員数は減少傾向にあります。

### (1) 正会員

県 別	平成 2 4 年度末	平成 2 5 年度末
広 島 県	1 6 7	1 6 2
岡 山 県	1 1 2	1 0 4
山 口 県	1 0 5	1 0 3
鳥 取 県	2 2	2 1
島 根 県	7 5	7 2
計	4 8 1 社	4 6 2 社

### (2) 正会員の異動状況

#### ア 入 会

県 別	事 業 者	事業区域
広 島 県	(株)アサヒタクシー三次	三次市

#### イ 退 会 (会員名簿から抹消するもの)

県 別	事 業 者	事 由
広 島 県	(有)船越タクシー	事業廃止
	(有)福祉タクシー東広島	事業譲渡
	福山個人タクシー(協)	設備廃止
	内海タクシー	設備廃止
	庄原タクシー自動車(有)	事業廃止

	(株)小国タクシー	事業廃止
岡山県	倉敷市個人タクシー(協)	設備廃止
	下津井タクシー	設備廃止
	三洋タクシー(株)	設備廃止
	(有)八千代タクシー	事業廃止
	佐伯タクシー	設備廃止
	江見タクシー	設備廃止
	賀陽タクシー(有)	設備廃止
	小川タクシー	設備廃止
	山口県	キリン交通(株)
ゴトウ第一交通(株)		設備廃止
鳥取県	米子第一交通(株)	設備廃止
島根県	山陰交通(株)	設備廃止
	(有)藤原急便	事業廃止
	中央タクシー(有)	設備廃止

### (3) 賛助会員

県 別	平成24年度末	平成25年度末
広島県	25	24
岡山県	5	5
山口県	4	4
鳥取県	3	3
島根県	3	3
福岡県	2	2
大分県	1	1
大阪府	1	1
計	44社	43社

ア 入会 なし

イ 退会

県 別	事 業 者	事業区域
広島県	(株)エスケイ	広島県

## II 平成25年度会議等

### (1) 一般社団法人中国自動車無線協会関係

開催日	場 所	会 議 名	内 容
平 25. 5. 22	広島市	第1回理事会	通常総会提出議案 デジタルタクシー無線の動向 被表彰者選考委員会
平 25. 6. 20	岡山市	第2回理事会 第43回通常総会	通常総会提出議案・総会運営 デジタルタクシー無線機器展示
平 26. 1. 31	広島市	第3回理事会	第44回通常総会開催計画 デジタルタクシー無線の取組み状況

			デジタルタクシー無線整備財政支援策
--	--	--	-------------------

(2) 一般社団法人全国自動車無線連合会関係

開催日	場所	会議名	内容
平 25. 5. 15	東京	第 1 回理事会	通常総会提出案件
平 25. 6. 20	岡山市	6 月期臨時正副会長会議 第 2 回理事会 第 3 回理事会 第 53 回通常総会	通常総会提出案件 全自無連通常総会
平 25. 9. 10	東京	9 月期専務理事会議	デジタルタクシー無線普及推進 携帯 IP ネットワーク利用者組織の検討
平 25. 9. 11	東京	9 月期 総務委員会・ 通信技術委員会・ 移動通信ネットワーク 特別委員会	デジタルタクシー無線普及推進 携帯 IP ネットワーク利用者組織の検討
平 25. 10. 24	京都市	10 月期正副会長会議	通常総会以降の活動 デジタルタクシー無線普及促進 携帯 IP ネットワーク利用者組織の検討
平 26. 1. 16	東京	新年賀詞交歓会	全自無連、(一社) 全国乗用自動車連合 会 (一社) 関東自動車無線協会の共催
平 26. 3. 12	東京	3 月期専務理事会議	第 54 回通常総会提出議案 デジタルタクシー無線導入状況 低利融資・支援制度について 携帯 IP ネットワーク利用者への組 織対応について
平 26. 3. 13	東京	3 月期 総務委員会・ 規定検討作業部会	デジタルタクシー無線導入状況 携帯 IP ネットワーク利用者への組 織対応について 規定改正検討案について
平 26. 4. 9	東京	4 月期正副会長会議 第 4 回理事会	第 54 回通常総会提出議案 総会被表彰者の選考

(3) 中国総合通信局関係

開催日	場所	会議名	内容
平 25. 6. 3	ANAクラウン プラザホテル	電波の日、情報通信月間 中国情報通信懇談会総会	記念式典・表彰式 事業報告・事業計画等
平 25. 6. 11	KKRホテル広島	中国受信環境クソ協議会総会	事業報告・表彰式

### III 事業の実施状況

平成 25 年度、第 43 回通常総会の事業計画に基づく実施状況は次のとおりです。

#### 1 デジタルタクシー無線対策

## (1) デジタルタクシー無線の普及推進

アナログタクシー無線の周波数利用が平成 28 年 5 月 31 日までと定められていることから、それまでの計画的かつ順調なデジタル移行を支援するため、以下の取り組みを重点に行っています。

ア 協会は、全ての会員が滞りなくデジタル移行を行うために、必要とするデジタル周波数の確保を基本に取り組んでいます。

イ 中国地方は周波数対策が一番の課題であり、メーカー各社に対しデジタル周波数を有効利用できる無線機開発を要請するとともに、各方面での開発動向の把握に努めています。

ウ デジタル移行が進む広島集中基地局ではデジタル整備にかかわる第二期設備工事が終了し、残る免許人全てがデジタル移行できる環境が整いました。引き続き、広島移動無線センターと連携して集中基地会員のデジタル移行を呼びかけていきます。

エ 中国総合通信局は、基本的に 1 免許人にデジタル周波数 1 ペアアの割当を指導されていることから、前進基地局の周波数割当計画は策定されていません。

① 集中基地局の前進基地周波数は、現状の常送方式のもとでは引き続き検討課題となっています。

② 分散基地局の前進基地周波数も厳しい状況ではありますが、先の審査基準の見直しにより、同一周波数の折り返しによる中継方式が認められており、不感地帯対策が図られています。

オ 瀬戸内海を囲む中国・四国・九州の周波数割当調整は、混信検討などが複雑となり厳しい状況と聞いています。デジタル移行期限が迫る中で、より一層厳しい状況となってきています。

カ タクシー自営無線から携帯電話利用の配車システム(携帯 I P ネットワークシステム)に移行する状況が増えてきたことから、同システムの導入コスト、無線配車の運用管理、導入都市規模等の種々の状況把握に努めています。これらの状況をふまえて全自無連が設置する「全国 I P 組織委員会」にかかわって、協会の役割などについて検討を進めています。

## (2) 各県デジタル検討部会の活動支援

中国総合通信局、賛助会員(メーカー・ディーラー)と連携して、各県デジタル検討部会を支援しました。

### ア 広島県デジタル関係

広島移動無線センターの会員及び分散基地局を開設した会員のデジタル移行工事に立ち会い、デジタル移行にともなう課題の把握に努めています。

広島集中基地局では、「非常送方式」「4 値 F S K 方式」デジタル無線の導入が認められた状況をふまえ、現在、非常送方式によるデジタル整備を行われた会員様がおられます。

引き続き、会員の要望を広く取りまとめ、集中基地局での様々な運用の可能性について対応していきます。

### イ 岡山県デジタル関係

岡山県移動無線協会と緊密に連携して、岡山集中基地局会員及び分散基地局会員のデジタル変更計画書(サービスエリア調査)に基づき、周波数・不感地区対策を

中国総合通信局に要望しました。

ウ 山口県デジタル関係

分散基地局会員のデジタル変更計画書（サービスエリア調査）に基づき、周波数・不感地区対策を中国総合通信局に要望しました。

エ 鳥取県デジタル関係

分散基地局会員のデジタル変更計画書（サービスエリア調査）に基づき、周波数・不感地区対策を中国総合通信局に要望しました。

オ 島根県デジタル関係

分散基地局会員のデジタル変更計画書（サービスエリア調査）に基づき、周波数・不感地区対策を中国総合通信局に要望しました。

(3) 低廉なデジタル無線機の提供

安価なデジタルタクシー無線機として「4値FSK方式」デジタルタクシー無線機が、平成23年度以降これまでに6社のメーカーから提供されています。その状況のもとで、この3年間でデジタル整備を完了した会員のうち、9割程度の会員様が同方式でのデジタル整備となっています。

(4) 瀬戸内海側のデジタル周波数対策

瀬戸内海沿岸の中国・四国地方は、ほぼ等間隔に過密都市が分布していること、瀬戸内海を囲む中国・四国・九州方面での電波干渉の可能性が高いこと、その状況の中でタクシー事業者の電波利用が進んでいることから、デジタル周波数割当も厳しい状況にあります。

ア 総務省が平成20年11月に現在利用しているアナログ周波数帯のデジタル再利用（新デジタル波102CH）方針を示し、周波数不足問題が一步前進しました。

イ 当局は、新デジタル波の割当計画を策定し、運用中のアナログ周波数との技術審査を慎重に行う中で新デジタル波の指定を行っています。

ウ 運用中のアナログ周波数が存在する中で、デジタル再利用が難しい状況のもと、混信対策等一定の条件が整った地区（アナログ波再利用可能地区）では、新デジタル波の割り当てがされてきています。

(5) デジタル財政支援策

経済状況が厳しい中でデジタル化を進める必要がある状況をふまえ、全自無連を通じタクシー無線整備にかかわる財政支援制度の拡充について、総務省及び国土交通省に対して要望を続けてきた中で、タクシー無線のデジタル化にかかわる財政融資制度並びに財政助成制度が認められました。

融資については、低率での融資金利が設定され、助成については高齢者雇用を前提とする一定額の助成金が認められました。

当該制度についての説明会を、平成26年3月18日に広島市において開催し、多くの会員にお集まりいただきました。その後、具体的な制度利用に向けて取り組まれている会員様がおられます。

(6) デジタルタクシー無線機器の展示

岡山総会及び各県で実施した法令周知会において、メーカー協力のもとデジタル無

線機器展示を行うことにより、会員皆様の関心に一定程度お応えできました。

## 2 許認可対策（無線局の免許可支援）

- (1) 中国総合通信局提出書類（無線局申請等）にかかわって、申請書作成代理人の指導、提出書類の下見・点検、不備箇所連絡と補正を行っています。特に、デジタル移行に関する周波数の早期内示、免許、許可等が速やかに行われるよう努めました。

平成 26 年 6 月期の再免許申請について、これまでと同様に電子申請による手続きを積極的に行いました。あわせて、免許申請についても電子申請を活用しました。

申請取扱件数 (平 25. 5～26. 4)

申 請 書		届 出 書	
種 別	件 数	種 別	件 数
免 許 申 請	46	落成（完了）届	34
再 免 許 申 請	32	常置場所変更	6
指定事項変更	56	無線設備変更	9
通信の相手方・通信事項	5	免許承継	0
設置場所変更	5	無線局廃止	68
無線設備変更	48	無線従事者選解任	67
免許承継	2	住所変更	6
免許状（証票）再交付	1	計 画 書	51
そ の 他	8	そ の 他	27
申請取下	0	無線設備点検報告	78
計	203	計	346

### 申請取扱件数のうちの電子申請内訳

申 請 書		届 出 書	
種 別	件 数	種 別	件 数
免 許 申 請	42		
再 免 許 申 請	32		
計	74	計	0

- (2) 会員（代理人）に、「無線局免許、変更」計画書（表中 51 件）について、できる限り早めの相談と提出を要請しています。その状況のもとで、会員要望を当局に説明することにより早期の実現に努めています。

ア 会員が安心してデジタル移行を検討できるよう、賛助会員（メーカー・デラー）に対して、綿密なサービスエリア調査を要請しています。

イ 「計画書とサービスエリア調査」は、周波数検討資料に活用されます。

- (3) 電子申請への対応

平成 25 年度中に対応した再免許（平成 26 年 6 月期）については、対象会員にかかる申請全てを電子申請で行いました。

電子申請は会員皆様の負担軽減（申請手数料が書面申請と比べて約3割安価）となることから、引き続き免許申請とあわせて積極的に活用していきます。

平成25年度中対応（平成26年6月期）再免許申請状況

県名	再免許申請									失効・廃止局	
	再免許該当免許人	再免許該当局数		電子申請		書面申請		電子申請率		基地局	陸上移動局
		基地局	陸上移動局	基地局	陸上移動局	基地局	陸上移動局	基地局	陸上移動局		
広島県	7	5	139	5	137	0	0	100.0%	100.0%	0	2
岡山県	3	2	17	2	12	0	0	100.0%	100.0%	0	5
山口県	6	6	33	5	28	0	0	100.0%	100.0%	1	5
鳥取県	1	1	59	0	19	0	0	100.0%	100.0%	1	40
島根県	3	5	23	3	11	0	0	100.0%	100.0%	2	12
合計	20	19	271	15	207	0	0	100.0%	100.0%	4	64

### 3 混信妨害対策

携帯電話・地上デジタル放送など、デジタル周波数への移行ともかかわる課題も発生しています。

また、アナログ期間中の無線設備・アンテナ等の老朽化は、混信発生の恐れもあり定期的保守点検をお願いします。

これまでも混信妨害対策として、混信発生申告と同時に当局へ調査要請を行い、賛助会員の協力も得て早期解消に努めています。

発生地区	申告内容	対応等
広島地区	集中基地局に音声が入感する。	無線設備誤操作からの入感波のため解消。
広島地区	外国波の混信。	現地調査するも自然消滅。
広島地区	他局からの混信。	現地調査するも自然消滅。
広島地区	同一波の混信。	現地調査するも自然消滅。
岡山地区	外国波の混信。	現地調査するも自然消滅。
岡山地区	外部雑音の入感。	現地調査するも自然消滅。
山口地区	他局からの混信。	現地調査するも自然消滅。

#### 4 自主管理対策（無線局の適正管理支援）

協会は例年と同様に、タクシー無線の適正管理支援として各県主要都市において法令周知会を開催しました。タクシー無線のデジタル化が迫る中、デジタル化に関する情報提供等を中心に行いました。なお、例年実施しておりました津山地区については、開催日が台風による荒天のため延期・中止としました。

周知会では、各県役員の挨拶に続き、中国総合通信局からタクシー無線デジタル化の状況や最近の電波行政施策などの説明が行われました。（説明会資料は全会員配布済）続いて、協会から配布資料「デジタルタクシー無線法令周知会」に基づき、無線局の良好な管理運用及びデジタルタクシー無線普及状況を説明しました。

なお、各メーカー協力のもと、このたびは全ての開催地で実際にデジタルタクシー無線機を展示するなど普及促進の取り組みも行いました。

平成 25 年度デジタルタクシー無線法令周知会開催状況

県 別	開 催 地	開 催 日	開 催 場 所	出席社数	出席者数
鳥取	鳥取市	H25. 10. 1	対翠閣	正会員 6 賛助会員 4 その他 1	11
鳥取	米子市	H25. 10. 2	米子食品会館	正会員 3 賛助会員 6	9
島根	松江市	H25. 10. 2	ホテル宍道湖	正会員 18 賛助会員 4	22
島根	益田市	H25. 10. 3	市民学習センター	正会員 2 賛助会員 1	3
岡山	岡山市	H25. 10. 8	岡山県タクシー会館	正会員 8 賛助会員 8	16
山口	下関市	H25. 10. 15	海峡メッセ	正会員 6 賛助会員 2	8
山口	山口市	H25. 10. 16	パルトピア山口	正会員 1 賛助会員 3	4
山口	岩国市	H25. 10. 17	岩国市福祉会館	正会員 4 賛助会員 3	7
広島	福山市	H25. 10. 22	福山プラザホテル	正会員 9 賛助会員 7	16
広島	呉市	H25. 10. 23	ビューポートくれ	正会員 4 賛助会員 4	8
広島	広島市	H25. 10. 24	広島県タクシー年金会館	正会員 6 賛助会員 7	13
合 計					117

#### 5 防災・防犯協力

##### (1) 防災関係

本年度も中国地方は豪雨等の自然災害が発生しました。とりわけ、梅雨期のゲリラ豪雨や冬場の豪雪による社会生活への影響が色濃く見受けられました。

- ① 中国地方非常通信協議会では、会員が参加して地震・台風等の非常災害時の通信確保のための「非常通信訓練」を行っています。ただし、タクシー無線は訓練計画に



参加していません。

- ② 昨年全自無連が取りまとめた「災害発生時対策マニュアル」では、災害発生時の非常通信、関係機関との連携など災害時におけるタクシー無線活用策について示されており、災害時など緊急時におけるタクシー無線初期情報は、防犯協力と共に地域社会に貢献する情報として期待されています。

## (2) 防犯関係

広島集中基地局には、広島県警本部緊急通報装置(一斉緊急通報)として、タクシー会員からの発信、情報提供と防犯活動の迅速対処を目的としたシステムが導入されています。

他の地区では、県警から FAX 等で会員に一斉緊急通報発信、情報提供が行われ、防犯活動の迅速な対処に協力しています。

## 6 タクシー協会との連携

総会日等の設定、法令周知会の会場等は、各県タクシー協会と連携を図り、円滑な業務運営と情報交換に努めました。

6月20日、岡山市で開催された第43回通常総会は各県タクシー協会のご支援とご協力をいただきました。とりわけ岡山県タクシー協会には、本総会が全国総会との共催となり繁忙を極める中で多くのご支援をいただき、全国総会を盛会のうちに終えることができました。

## 7 広報活動等

タクシー無線に関する監督官庁の周知事項、全自無連並びに協会の事業活動を中心に会員への情報提供に努めました。

### (1) 中国協会広報誌・自動車無線「情報」

今期はNo. 195～No. 197を発行し、全会員あて送付しました。

同様に、中国総合通信局、中国運輸局、各県警察本部、各県タクシー協会等関係機関にも送付し、情報提供しました。

### (2) 全自無連会報誌「タクシー無線 No. 52 2013」

全会員あて送付しました。なお、中国協会の会員1社から投稿いただいております。

・「4値F S K無線機を導入して～事例インタビュー集」

有限会社大社ハイヤー 代表取締役社長 小田 紀夫 様

### (3) 「インフォメーションタクム」

全自無連発行「インフォメーションタクム」は、今期2013. 8. 1 No. 44～2014. 4. 1 No. 47が発行され、中国協会を経由して中国総合通信局、中国運輸局、各県警察本部、各県タクシー協会等へ送付しています。

「インフォメーションタクム」は、全自無連と全国各協会事業の取組み、行政の動き、会員の投稿意見等を組織の内内外に対する宣伝活動と位置づけて発行されています。

## 8 表彰

第43回通常総会において、多年にわたり役員として協会の発展に功績のあった2名に表彰状・感謝状、犯罪の防止にかかわって特に功労のあった1社に表彰状、無線従事者として永年勤続者5名の方々に表彰状を贈呈しました。